

令和2年度 第3回健康福祉審議会健康分科会 議事録

日 時：令和3年2月25日（木）13：30～15：00

場 所：加賀市役所別館 302・303 会議室

出席委員：◎小橋、新澤、今村、田端、吉田、中田、湯谷、木戸口、丸井、納谷、家元、
後出、山根、後藤

欠席委員：橋本、○川向、谷本

（敬称略：◎会長、○副会長）

次第

1. 開 会

2. あいさつ

3. 議 題

（1）加賀市国民健康保険保健事業等実施計画（後期計画・最終案）について **資料1**

新澤委員：これは感想になるのですが、健診受診者が減っていると思った。糖尿病が最近増えてきている。特定健診保健指導が始まった時に、メタボリックシンドロームに皆さん関心を持たれたが最近、関心が薄れていると気がかりだった。食育の方でも大人もそうだが、色々な方向に問題がある。一番最初の基本は朝ごはんから始まるような気がする。規則正しい生活ができる、それがすべての健康に繋がる。規則正しい生活ができないということが、色々な疾病に繋がっていき、生涯通じての問題に繋がっていくので、今日は本当に細かい結果を見せていただいて、改めて基本的な問題と違って対策をしなければいけないと思った。

（2）令和3年度の主な取組について

① 健康増進対策 **資料2**

後出委員：健康増進対策については、多方面にわたってきめ細かく継続的にされていて、いいなと思い聞いていた。色々な事業がたくさん出ているのですが、資料8ページに高齢者になると介護認定の申請時の疾病が認知症の次に骨折がきている。最近、私の周りに骨折して入院というのをよく聞く。ただ、ラジオ体操に行けという事業ではなくて、啓発とか対策とか、コロナ禍なのであまり運動もできないと思うが、そういうことも事業と並行して併せて啓発を進めていけたらどうかと思っている。やっぱり骨折し入院となれば、筋力が衰えて一気に介護状態となっていくので、先ほど説明を聞きながら思ったことだが、多方面にわたる色々な取り組みも結構だが、一つ一つについてきめ細やかな啓発的なことができたかどうかと感じた。

新澤委員：先ほどの細かいデータを出していただいて、それに基づきそれぞれきちんと計画ができていて関心した。今回私が感じたのは、今後の高齢化社会の先を見据えた計画になっていると思った。それと歯の問題は、これまで取り上げられていなかったが、大人の歯の問題（歯周病）に取り組んでいただいているのも進めてほしいと思った。骨折の話が出ていたが、骨折はもちろん転ぶとか事故もあるが骨の問題ではなくて、筋肉。しっかりとした栄養をとることが大切だと思う。特に高齢期になると食事がしにくくなる人が増えてくる。そうすると筋肉も衰えて骨も弱くなるから骨折もしやすくなる。事故を防止するということと合わせて骨を作る。あるいは筋肉を作る。高齢期の問題になると思うが、高齢期の入り口を計画の中で取り組んでいただけたと思った。集会場の禁煙受動喫煙対策ということで、保健推進員の方が町集会場の禁煙状況を報告し、禁煙の管理をする運動をしてくれている。ただ今は人が集まるところには基本的には禁煙というのがだいたいの流れですので、自由に吸えるというのはどうかと思う。

山根委員：高齢者の保健事業及び介護予防の一体化事業の実施というところで、地域の身近な相談窓口として、地区地域包括センターランチとなっているが、そのランチに色々なことを相談してくださいという方向性というか周知はどのようにする予定なのか。それとランチの中に専門的な知識を持った方がいるかどうか。介護に関しては専門的な知識は持っていると思うが、医療と結びつけるというのはどのようにするのか。

事務局：地域の身近な相談窓口としての周知というところは管轄が地域包括支援センター、長寿課の方になり、毎年、介護予防基本チェックリストに相談窓口チラシを入れて皆さんに周知している。もう一つこの事業については、介護の専門ではなくて、看護職の方と一緒に連携して取り組んでいる事業なので、介護の視点と医療の視点、生活の視点と合わせて一緒に健康相談、健康教育をしている。こういった地域の身近な相談窓口等を健康課も高齢部門と一緒にあって、周知等を一緒に進めていきたいと思っている。

小橋委員：この歯周病検診は無料でしたか。

事務局：無料となる。

小橋委員：意外に受診者が少ないから、どうなのかと思った。どこも歯科はいっぱいだから、なかなか予約がとりづらいのか、検診に行きづらいところがあるのかなと思った。あるいは、全く検診を受ける気がない人が多すぎるのかと思った。意外と歯の気になる人はいるかなとは思いますが、その辺はどうか。

事務局：歯周病検診に関しましては、歯科医師会と一緒に周知の部分を行っているが、先生方からも受診数がなかなか伸びていない状況にあるといわれている。今回の個別の通知に関しても通知の封筒の表側に、歯周病検診0円という周知をしているが、今後こういった形で周知できるかというところは考えていきたいと思っている。

② 母子保健対策

資料3

新澤委員：ねんねナビに興味があるというか、朝ごはんの問題もこのあたりに繋がっていくのかと思っているが、15名って書いてあるのは、対象が15名程いるのか、事業の中で15名なのか。実際どのくらいのこういったお子さんがいるのか。また、その方達にどの程度対応できるのか教えてほしい。

事務局：ねんねナビの対象児15名の根拠になりますが、このアプリに関しましては実はアプリを介して、大学等の専門家の先生方が相談内容に対する回答を作成して返すといった、かなり人的なネットワークコミュニケーションが必要という形になっているので、今年度の実績を踏まえて15名くらいは対応が可能であろうと思っている。

(3) 新型コロナウイルスワクチン接種について

資料4

吉田委員：ご説明ありがとうございます。16ページにクーポン券が届くのは3月下旬に住民票の所在地にということですが、それは3月下旬時点での住民票の所在地に届くことになりますか。いつ頃配布されるのか教えてほしい。

事務局：現在、作成しているクーポン券は、1月1日現在の住所地に対して送ることとされている。転出入等をされる方については、加賀市内の方であれば、郵便局に転居届、転出届等を出していただければ郵便局からお手元の方へ配達される。転入の方は窓口で再発行という手続きになると思う。そちらの方は転入する時の案内で手続きをお願いする形となる。

吉田委員：コールセンターを設置するということでしたが、24時間体制か。

事務局：コールセンター自体は24時間ではなく、月～土曜の9時から18時までになる。

吉田委員：集団接種でアナフラキシーとか異常があった場合はどこに問い合わせになるか。

事務局：接種についての相談はコールセンターでお電話いただくことになるかと思う。アナフラキシーは接種して短時間で発生するのが大半だと聞いているので、経過観察のところで見ることができないのではないかと考えている。

吉田委員：30分の経過観察中にできるのか。

小橋委員：基本的にはアナフラキシーというのは、速効型ですからおそらく30分も必要ないというか、本当に数分くらい出でてきてしまうので、それはその場でアレルギーという形になる。ただ接種を受けて、夜になってからというのは対応しようがないので、その時は加賀市医療センターの救急の方に問い合わせしていただく。おそらく、アナフラキシー自体が加賀市で1例ない確率なので、そんなに心配することはないかと思う。

吉田委員：コールセンターには「受けたいけど、何か心配」というような漠然とした質問にも対応してくれるのか。

事務局：はい、そうです。一応、全般的な相談事という形では対応させていただく予定になっている。ワクチンの現状をみていくと、接種のスタートはワクチンが供給されしだいという考えなので、仮に4月1日に高齢者に案内を発送する形になった

とすると、高齢者の枠の中でも案内をある程度、優先順位をつけて発送する。高齢者の発送の期間におきましては、資料10ページに3月22日頃発送と記載させていただいたが、この資料作成後、全自治体においては、4月26日以降に本格化されるとの国の発表があった。この発送時期に関しては、まだ変動する可能性があるのご承知いただきたい。また、本日石川県の方で市町向けの説明会が同時に開催されている。市の方でも実施計画を練り直していきたい。

4. 閉 会